

つくば市における自動販売機の分布に関する考察（1）

- A study of distribution on vending machine in Tsukuba city（1） -

長坂 幸俊（NAGASAKA Yukitoshi）・中村 文宣（NAKAMURA Fuminori）

1) 研究目的

本研究では、つくば市における自動販売機（自販機）の分布に関して、異なる4つの事例地域の分布から、コンビニエンスストア（CVS）の分布や自販機の設置環境といった諸要素と自販機との相関関係を見出すことを目的とする。

【事例地区】

集合住宅集中地区：春日1～4

飲食店集中地区：吾妻3，天久保1・2

都市中心地区：吾妻1，竹園1・2丁目，東新井

都市郊外地区：花畑1～3

2) 研究方法

GPS 端末を用いて、事例地区の自販機の設置場所をウェイポイントデータとして取得する。取得データは ArcGIS を用いて、分析・地図化を進め現地調査で得た情報と共に考察を行う。

3) 研究結果

①自動販売機の分布と人口構成との関係

図1は、対象となった地区における自販機と CVS

の分布を示したものである。どの地域も域内にまんべんなく分布している。自販機の総数については、郊外よりも学園都市中心部に多く分布している。また、飲食店などの多い地域や学生が多く居住している地域（飲食店集中地区や集合住宅集中地区）に多くの自販機が設置される傾向にあるといえる。

しかし自販機の総数が多い地区は、人口規模も大きいことから、人口1000人あたりの自販機数では少なくなってしまう状況が生まれている（表参照）。

以上のことから、自販機の分布に関して、分布している総数は郊外より都市中心部に多い。人口データとの関係では、事例地区によって偏りがみられた学生の存在が重要要素であると考えられる。

表 人口1000人あたりの自販機数

集合住宅集中地区	6.75機
飲食店集中地区	12.21機
都市中心地区	16.52機
都市郊外地区	8.67機

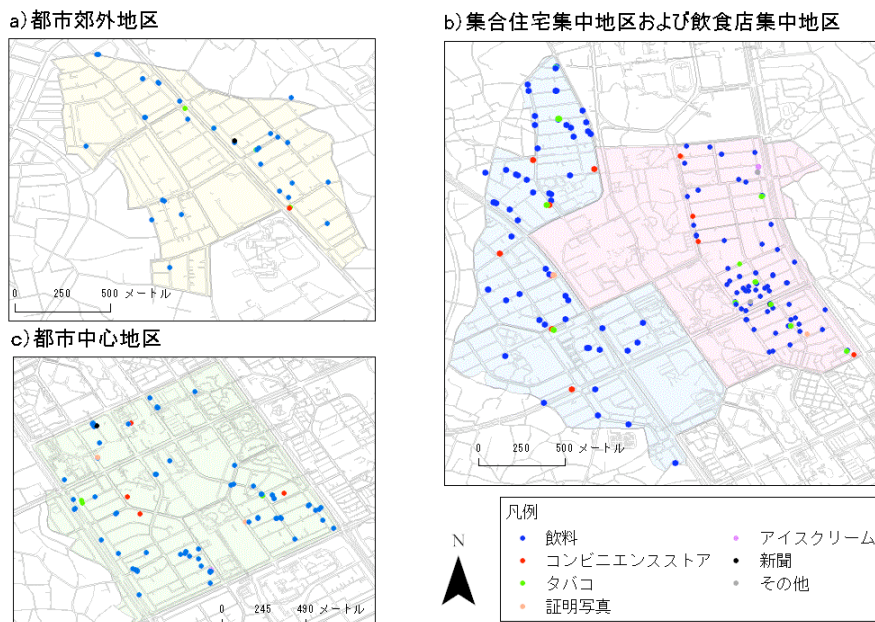


図1. 対象地域における自動販売機およびコンビニエンスストアの分布